

## ■フィリピン：議会は民間投資家主体によるバターン原子力発電所の建設再開に前向き

フィリピン下院エネルギー委員会のアロヨ議長は 2009 年 2 月中旬の記者会見で、建設が中断されているバターン原子力発電所について、再開に向け前向きに取り組む考えを示した上で、再開に向けたスキームについては政府や関連の国際機関がイニシアチブを取りつつ、民間事業者主体で実施する形が望ましいと語った。さらに同氏は開発に向けた環境整備として、原子力法を早い段階で策定することが不可欠との考えを示し、既に関連法案を提出している下院に加え上院も法案を提出し、両院で具体的な議論をする事が重要であると述べた。バターン発電所の再開に向けた動きとしては、昨年 12 月に締結された覚書を基に現在韓国電力が事業化の予備調査を実施中で、早ければ来週中にも報告書が政府に提出される予定である。なおフィリピンエネルギー省の計画では 2025 年までに運用開始させたいとしている。